

■移動情報UD調査シートの使い方

- 事前調査で調査ルートと調査対象を予め設定することがポイントです。
- 調査は被験者と観察者の二人一組をお勧めします。観察者は調査項目の質問、評価の記入、写真撮影を行います。

- ①「ロケーション」
調査ルートの設定
- ②「案内情報」
対象となる具体的な案内情報を設定
- ③「地図番号」
(2)の地点を明確に記録するために地図番号を設定。(右図参考)

ロケーション	案内情報	地図番号	案内の有無
バス車内	電車の運行状況	1	有



5. 補助案内

補助案内			
外国語	音声情報	点字情報	
英 中 韓	有 無	有 無	有 無

「外国語」

英語・中国語・韓国語の有無をチェック

「音声情報」

音声情報の有無をチェック

「点字情報」

点字表記の有無をチェック

「ルートの選択」

上下移動手段が複数ある場合は、条件が異なります。
この場合、被験者共通のルートを選択することをお勧めします。

[バス-駅間] UD調査

●ルートの選択 ☐ A. エレベーター ☐ B. エスカレーター ☐ C. 階段 ☐ D. フリー

●調査日: _____ ●天候: _____ ●調査場所: ○○駅 バス-駅間調査

*「ロケーション」と「案内情報」に調査必要な項目を記入

ロケーション	案内情報	案内の有無	案内の 見つけやすさ	案内の 設置場所表示高さ	案内の 分かりやすさ	文字サイズ	色使い	検索性	補助案内	その他 (自由記述)	
			良 → 悪	良 → 悪	良 → 悪	良 → 悪	良 → 悪	良 → 悪	外国語 英 中 韓	音声情報 有 無	点字情報 有 無
バス	バス車内	電車の運行状況									
	降りかバス停	駅への案内									
	駅構内	駅への案内									
	駅構内	改札口への案内									
電車	駅構内	改札口への案内									
	電車内	電車の運行状況									
	ホーム	バス停への案内									
	改札	バス停への案内									
バス停	駅構内	バス停への案内									
	駅構内	バス停への案内									
	駅構内	バス停への案内									
	駅構内	バス停への案内									
バスロータリー	バスロータリー	ロータリーマップ									
	バスロータリー	バス運行状況									
	バス停	行き先表示									
	バス停	路線図									
バス停	バス停	時刻表									
	バス停	バス運行状況									
	バス停	行き先表示									
	バス停	行き先表示									

1. 案内の有無

案内情報の地図や行き先表示があるかをチェック。

2. 案内の手段

地図・壁付型・吊下げ型などの方式を記録

3. 案内の見つけやすさ

「設置場所」
適切な場所へ設置されているかをチェック。

「表示高さ」
適切な高さへ設置されているかをチェック。

4. 案内の分かりやすさ

「文字サイズ」
見やすい大きさで表示がされているかをチェック。

「色使い」
コントラストや色合いを考慮した表示になっているかをチェック。

「検索性」
現在位置や方向が見やすく表示されているかをチェック。